

令和7年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	84	南安曇農業 高等学校	全 課程	農業 科
----------	----	---------------	---------	---------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
勉学・健康・品位の向上を図り、健康で教養豊かな科学的農業人を育てる。	1 南農生としての自覚を持ち、学校における諸活動を通して、自律的・主体的な行動力を身に付ける。
重点目標	2 生徒会活動や農業科目の実習等、他者と協働する活動を通して、よりよい社会の創造に貢献できる資質・能力を養う。
食料・環境・生命に関する教育を通して豊かな人間性と生きる力を育み、地域産業や地域文化の継承を担う人材を育てる。また、地域と連携して開かれた学校づくりを進め、安全で安心して学べる学校づくりに努める。	3 植物や動物の栽培や飼育に関する学習を通して、生命を尊重し自然を愛し、互いを思いやる心を育てる。
	4 地域と連携した教育活動を通して、地域社会に参画する意欲を育てる。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科
1年	高校生としての自覚を持ち、責任ある行動がとれるようにする。また、新しく出会った仲間と相互理解を深め、互いを尊重し助け合える仲間づくりを行う。	「自分の将来と向き合う」進路講話等を通して将来の職業について考え、それにたどり着くための進路選択を考えていく。また進路にあわせてコース選択についても考える。	毎朝実施している「鵬の時間」を通して「読む・考える・書く」とともに社会情勢を知る機会とする。また「性被害防止講話」等の学校行事を計画し、互いを尊重した仲間意識を高める。	クラブや委員会活動では、先生や先輩からの指導を仰ぎ、自主的に取り組めるようにする。また文化祭では、クラスの団結を高め、協働する心を育てる。	国語 文学作品における登場人物の心情を自分のこととして考え、話し合ったり発表することを通して、相手の気持ちを思いやる気持ちを育む。 地理歴史 社会を複合的に見る態度を養い、過去の歴史を通して社会のあり方や人間としての生き方を捉え、それを実生活の中でどのように活かしていくか考える習慣を付ける。 公民 持続可能な社会づくりの観点から、憲法や修学旅行の事前学習なども通じて、地球規模の諸問題や地域課題を解決しようとする態度を養う。 数学 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。 理科 自身を取り巻く環境や自然に関心を持ち、探究する活動を通して、生命を尊重する態度を養う。 保健体育 体育や保健の学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にし、協力し合う態度を養う。 芸術 感受性や表現方法の多様性を受け入れ、よさを認め合う態度、また諸外国の文化・芸術へ興味をもち理解しようとする態度を養う。 外国語 教材を通し、人権・平和について考える機会を設け、よりよい社会を築く気持ちを育む。 家庭 人の一生を科学的に学び、家族、自立、人権、発達、共生等の多様な視点から己の人生を見つめる中で、「幸せ」な生き方について考える力を養う。 情報 情報モラルおよびコミュニケーションに関する見方・考え方を学び、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を養う。 農業 (総合的な探究の時間) 農業教育や、地域と連携した主体的・協働的な取り組みを通して、社会を支える産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を養う。
2年	他人の考えを理解しつづ、自主的な行動ができるようにする。また、本格的に始まるコース学習や生徒会活動等を通して、他者と協働する態度を身に付ける。	「体験を通して将来を考える」校外研修や地域と連携学習等の体験から、将来の進路を考えるきっかけづくりを行い、社会に出るための心を身に付ける。	毎朝実施している「鵬の時間」を通して社会情勢を知り、社会人となる為の社会常識や知識を身に付ける。また、修学旅行において防災教育を行うことで、災害発生時に命を守るために、災害のメカニズムや備え方、対処法について学ぶ。	校内組織における中心的存在として、集団での人間関係や自分の立ち位置を理解し、活発な活動が行えるよう、協働する心を育てる。	
3年	最高学年としての自覚を持ち、よりよい学校生活の実現のため、自主的・主体的に行動できるようにする。	「進路の実現と社会人としての準備」将来の自分の進路を展望し、実現に向けた取り組みを通して、社会を構成する一員である意識を高める。	毎朝実施の「鵬の時間」を通して、社会情勢を知り、社会人となる為の常識や知識を身に付ける。互いの人格を尊重し合える集団づくりを進める。また「ワーキングセミナー」や「生活設計講座」を通して、社会に参画する意欲を養う。	生徒会活動やクラブ活動を通じ、学校を牽引するリーダーとしての自覚を高めさせ、他者と協働する自主的・実践的な態度を養う。	

家庭・地域との連携	・各コース学習や農業クラブ活動など地域社会と連携した諸活動を通して、生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を養う。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。
-----------	---